

SUSTAINABILITY REPORT

2022



株式会社ジャパンセミコンダクター

	本社・岩手事業所	大分事業所	川崎分室
代 表 者	取締役社長 川越 洋規		
	事業所長 黒井 聡	事業所長 仮屋園 展史	—
所 在 地	岩手県北上市北工業団地 6番6号	大分県大分市大字松岡 3500番地	神奈川県川崎市幸区堀川町 580番地 1
従 業 員	2, 1 0 0 名		
生 産 品 目	アナログ・パワー、MCU、リニアイメージセンサ など		—

・・・誠実に、そして確実に一步！ 環境を創造する・・・

時代と環境の変化をとらえ、社会の発展に貢献する企業を目指します

□社長の環境方針



2022年 4月 1日
取締役社長 川越洋規

ご挨拶

当社は、2箇所の製造拠点をもち、岩手事業所は奥羽、北上の両山系と北上川、大分事業所は高尾山、大野川といった美しい自然に恵まれた土地に位置しており、この豊かな環境に配慮することが私たちの使命であると考えます。

両事業所が地域に根ざし、地元の皆様との協調・連帯を図ると共に、SDGs※1を念頭に置き、調達から製造・廃棄に至る全ての事業プロセスにおいてもライフサイクルの視点に立って環境を意識した企業経営を実践し、半導体製品の提供を通じて社会に貢献することを目指します。

※1 SDGs : Sustainable Development Goals
(持続可能な開発目標)

お約束します

1. 倫理観と継続性

- 1) 当社の環境側面に適用可能な法的及びその他の要求事項を遵守し、コンプライアンスの徹底を図ります。
- 2) 環境活動レベル及び環境パフォーマンスの向上を図るため、監査と活動のレビューにより環境マネジメントシステムの継続的な改善を行い、効果的な運用を推進します。

2. 実 行

企業活動の実行においては、全ての事業プロセスにおける環境側面について、生物多様性を含む環境への影響を評価し、環境負荷の低減、汚染の予防などに関する環境目標を設定して、全員で積極的な環境施策を展開します。

- 1) 気候変動緩和のため、カーボンニュートラルに向けた取り組みにより温室効果ガスの排出を抑制します。
- 2) 循環経済への対応のため、生産性の向上、廃棄物の総排出量削減に向けた5R※2活動の実施、水資源の受入量削減施策により資源の有効活用を推進します。
- 3) 常に最新の情報を入手し法令管理の強化を図るとともに、環境リスク低減のため、使用する化学物質を適正管理し、取扱量及び排出量の削減を推進します。
- 4) 自然との共生を図るため、生物多様性の維持・回復に取り組めます。
- 5) ステークホルダーとの相互理解促進のため、コミュニケーションや地域・社会との連携に取り組めます。
- 6) 環境に配慮した企業活動の実践のため、自ら進んで行動する従業員を育成します。

※2 5R : 3R + 2 R(Refuse、Repair)

この環境方針を社内外に開示するとともに、本組織で働く全ての人々に方針を周知し、方針に沿った企業活動を推進します。

□カーボンニュートラルに関する方針

東芝グループ方針に沿い、2050年度までにカーボンニュートラルを実現

《中期方針》

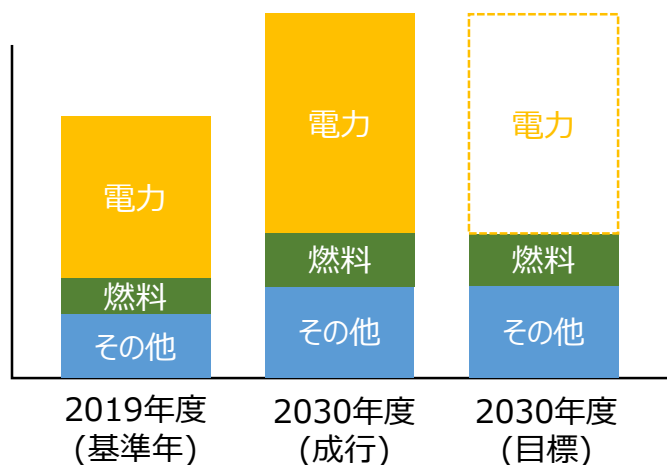
2030年度までに使用電力を再生可能エネルギー由来電力に転換する

- (1) 省エネルギーの促進
- (2) 自然エネルギー発電設備の導入
- (3) 再エネ由来電力の調達

電力によるGHG※排出量は全体の約7割を占めるため、2023年度から段階的に再エネ由来の電力を調達

※ GHG : Greenhouse Gas (温室効果ガス)

GHG排出量のイメージ



□プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律への対応

2022年4月1日に施行された同法への対応を実施中

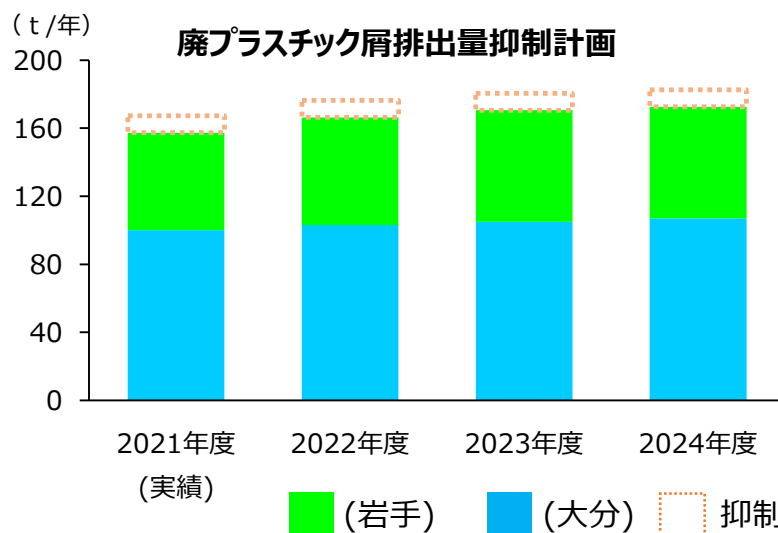
当社の廃プラスチック屑は、全体で160t(2021年度実績)排出されている。

排出された廃プラスチック屑は、全てプラスチック原料や焼却時の燃料として有効利用されている。

引き続き、排出量抑制の取り組みを行っていく。

《廃プラスチック排出量(2021年度)》 (t/年)

	有価物 (原料又は燃料)	廃棄物 (燃料又は原料)	合 計
(岩手)	6.0	53.0	59.0
(大分)	18.0	83.0	101.0
合 計	24.0	136.0	160.0



《主な抑制施策》

- 1) ウェーハケース等容器の通い化
- 2) 購入品等の梱包材の削減
- 3) 容器や梱包材のリユース
- 4) 生産効率向上 等

□環境マネジメントシステム

環境を第一に考え、継続的に改善する仕組みを運用

◆ISO14001 外部審査

ISO14001:2015 規格での認証を取得しています。

◆環境経営内部監査

システム監査、遵法監査、現場監査により環境問題の発生を未然に防ぎます。

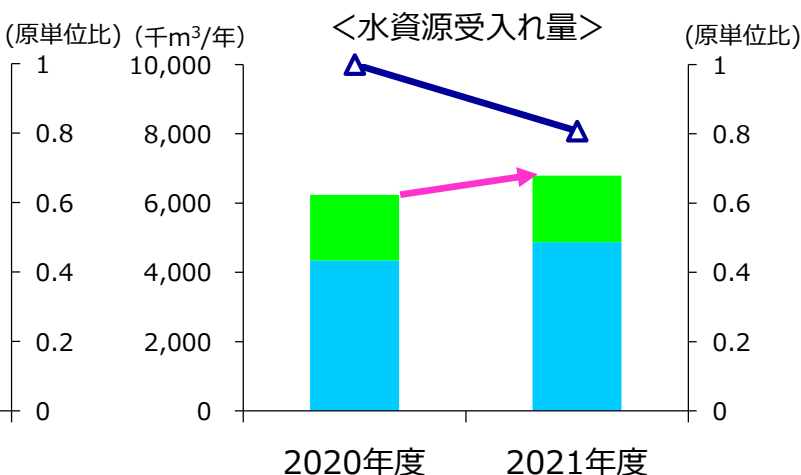
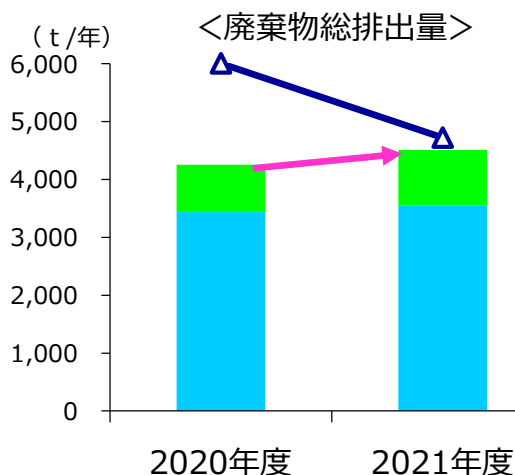
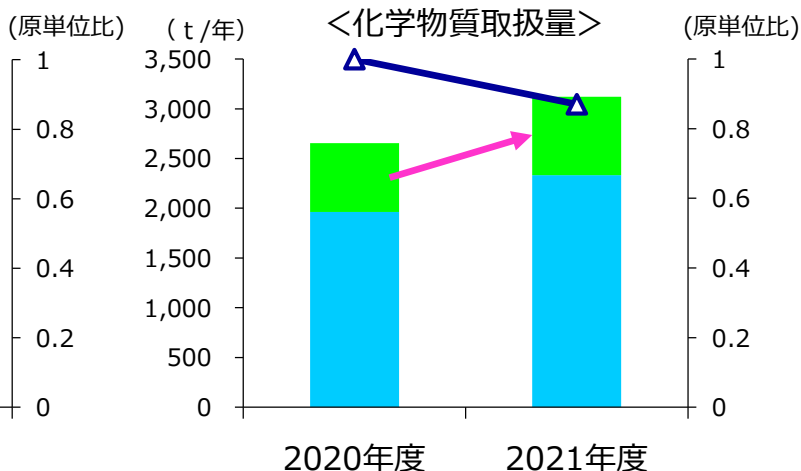
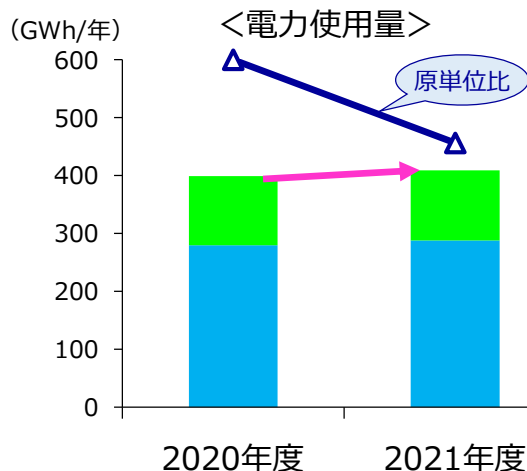


〈3全3現主義〉

- 3全
全域の全設備を
全員で管理
- 3現
現場で現物を見て
現実を管理

□事業所の環境負荷状況

生産は増加傾向だが、原単位が減少するよう、使用・排出共に最小限となるための削減施策を実行



■ (岩手) ■ (大分) — 対2020年度原単位比

□ 従業員の環境意識向上活動 一人ひとりの意識が企業を支える

〈岩手事業所〉

エアコンフィルター清掃キャンペーン



省エネ活動の一環として夏本番の前に各職場のエアコンを清掃

廃棄物処理施設見学会



処理施設を見学し、ごみの分別やごみを出さない意識が向上

〈大分事業所〉

5Rリモート見学会



リサイクルセンターをリモートで中継し、廃棄物の管理・処理等を紹介

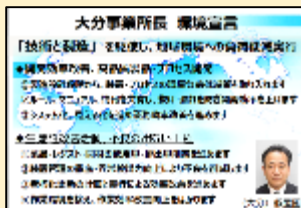
構内フラワーギフト



行政から頂いた花の苗をプランターに植栽し、各職場で育生

〈岩手事業所・大分事業所 合同活動〉

全部門長の環境宣言



部門長全員(常駐会社含む)による環境宣言を実施

5R絵手紙作成



全従業員に「5R絵手紙」を募集し、全作品123点を社内に公開

□環境社会貢献活動

地域との「ふれあい」を大切に、社会に貢献する環境活動を実践

◆花咲く 道するべ プロジェクト

岩手、大分両事業所では、花の植栽活動を通じて地域との協調・連帯を図り、コミュニケーションを推進。



(岩手)：北上市花いっぱい運動に参加



(大分)：近隣の松岡自治会主催の植栽会に参加

◆ボランティアによる清掃活動

環境月間の期間中、従業員及び家族が会社近くの河川や近隣の地域などを清掃。



(岩手)：会社周辺、市街地、居住地周辺を清掃



(大分)：会社の排水を放流している近くの川を清掃

□情報公開

環境レポートの他、webサイトでも各種取組を公開



◆令和3年度地域環境美化功績者
表彰環境大臣賞

◆第11回経済産業省キャリア教育
アワード奨励賞 他

※東芝デバイス&ストレージ(株)ホームページ



◆東芝グループ環境未来ビジョン2050

※東芝グループホームページ



◆「生物多様性保全活動」紹介

※東芝グループホームページ
生物多様性保全活動紹介



◆当社の環境報告書

※当社ホームページ



◆「川にホタルが帰ってきた」

※東芝グループホームページ
Toshiba Clip

お問合せは、岩手事業所 施設管理部 環境保全担当 0197-71-3025